

確認テスト 作業名	No.3 (解答例) のこぎりの使い方 (1)	実施日	年	月	日	学籍番号	氏名	点数 (満点/85点)
--------------	----------------------------	-----	---	---	---	------	----	-------------

問1.角材(柱材)を横(縦)と直交する)方向にのこぎきする場合、A~Fの作業を適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)



ひき込み位置と角度を定める(引き目を付ける)

解答欄 [E → D → B → C → F → A]

問2.図AとBのうち横引きを選び解答欄①に記号で答えなさい。また、A-Bのうち横引き刃の特徴をすべて選び解答欄②に記号で答えなさい。(5点×2)



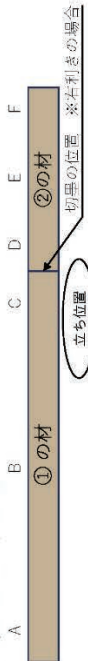
図A. 解答欄① [A]

図B. 解答欄② [A, B, C]

問3.角材(柱材)の横引き作業について、のこぎりのひき始めの角度と基本の角度(ひき途中)は、それぞれ何度が適切であるか答えなさい。(5点×2)

ひき始めの角度 [15~20°] 基本の角度 [45°]

問4.角材を照え付けるとき、下図の立ち位置(右利きの場合)に対して①と②の材どちらを渡し、切り落とすのが一般的か適切な方を選び解答欄に記号で答えなさい。また、角材をA~Fのうちどの位置に台(うま)を据えらと作業がしやすいか2つ選び解答欄に記号で答えなさい。(5点×2)



解答欄 切り落とす側 [②] の材 台(うま)を据える位置 [A・C]

注: 縦線や手元の作業を見たらうために帽子、手袋などは未着用で撮影しています。

問5.角材を両手で横引きする時ののこぎりの柄の持つ位置(右利きの場合)について、下図のA~Bのうち右手で持つと作業がしやすい位置を選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)

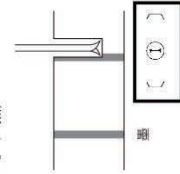


解答欄 [C]

問6.角材(柱材)の横引き作業にて、切墨どおりに切断するためのコツについて、A~Cの記述について適切なものはO、不適切なものには×で答えなさい。(5点×4)

	解答欄
A. 切り始めの頭の位置は、材よりも後ろ側に作業姿勢をとって作業する	×
B. ひき始めに、木材にのこぎりで切り込みを入れたとき、鞘指を距身にあてながら作業する	○
C. ひき始め、作業中、切墨と墨筋を合わせるよう意識してのこぎきをします	○
D. 作業終了直前ののこぎりの角度が水平になるように動かす	○or×

問7.下図右側に示す切墨を①のように切るとき呼称は、次のA~Dのうち適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



A. 墨半分 B. 墨払い C. 墨殺し D. 墨でっぺん (墨の真上で切る)

問8.角材(柱材)の横引き作業中におけるA~Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

回避方法

作業中に角材が台(うま)から落ち、てしまふ姿勢が乱れて転倒する。 ① 台(うま)の真ん中にあることを確認してから作業をする

引き終わりに、のこぎりが足に接触してケガをする。 ② のこぎりの延長線上に手指を置かない

引き始めに、のこぎりに当たっていた親指に刃先が接触する。 ③ のこぎりが足に触れないように、徐々に引くスピードを緩める

D. えている手指を蹴って切る ④ クランプなどの器具で固定する

付図 1.23 No.3 のこぎき (1) 角材の横引き 確認テスト

確認テスト 作業名	No.4 (解答例) のこぎりの使い方 (2)	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (総100点)	/85点
--------------	----------------------------	-------	-------	---------	-----	------------	------

問1.角材(柱材)の端部を縦(縦縦)方向にのこぎする場合、適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)



- A. ひき終わる
B. 材を押し付ける
C. ひき込み速度を速める
D. ひき込み姿勢をとる
E. ひき始める

解答欄 [B → D → E → C → A]

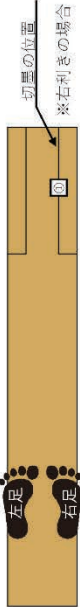
問2.図AとBのうち、縦引き刃を選び解答欄①に記号で答えなさい。また、A-Eのうち縦引き刃の特徴をすべて選び解答欄②に記号で答えなさい。(5点×2)



- A. 縦縦方向に直交して切断する場合に用いる。
B. 刃形は楕円形よりも細かい。
C. 刃の表面と裏面が交互に配列している。
D. 縦縦方向と平行に切断する場合に用いる。
E. 木材をひっかけように切る。

解答欄① [B] 解答欄② [D, E]

問3.下図の足の位置で作業姿勢を取り、利き手(右利きの場合)で①の墨線を縦引きで切断するとき、材の上に乗せる足はどちらのほうが作業しやすいか、解答欄に右足か左足で答えなさい。(5点)



解答欄 [右足]

問4.両手でこのこぎりを持って縦引きする時、のこぎりの柄尻の持つ手(右利きの場合)はどちらのほうが作業しやすいかについて、解答欄に右手か左手で答えなさい。(5点)

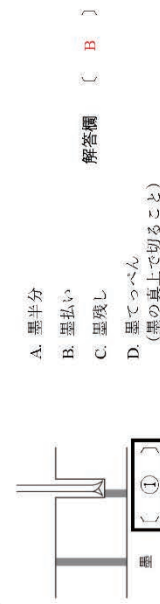
解答欄 [右手]

問5.角材(柱材)の縦引き作業について、のこぎりのひき始めの角度とひき終わりの角度は、それぞれ何度が適切であるか答えなさい。(5点×2)

ひき始めの角度 [15~20°] ひき終わりの角度 [90°]

注:視線や手元の作業を見てもう一方のために帽子、手袋などは未着用で撮影しています。

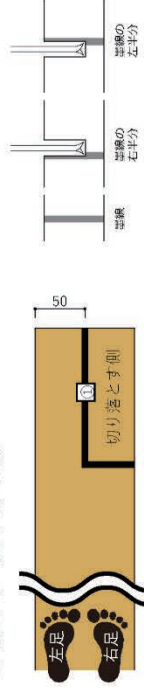
問6.下図右側に示す①の状態に切る方法の呼称A-Dのうち適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



- A. 墨半分
B. 墨払い
C. 墨残し
D. 墨をつべん
(墨の真上で切ること)

解答欄 [B]

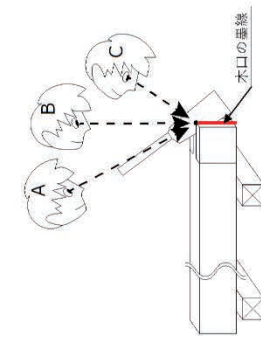
問7.下図①の墨線を墨線の半分で縦引きして幅50mmの厚さに加工する。この時①の墨線はそれぞれ図AとBのどちらで切り進めるのが適切か解答欄に記号で答えなさい。※ただし、材を裏返しにせず加工することとする。(5点)



- 図A. 墨線の右半分
図B. 墨線の左半分

解答欄 墨線②の切り方 [A]

問8.下図のように縦引きにて木口の墨線を切り進める時、作業者の頭の位置はA~Cのうち適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



解答欄 [C]

付図 1.24 No. 4 のこぎ (2) 角材の縦引き 確認テスト

問9.角材（柱材）の縦びき作業にて、作業中ののこぎりの動かし方のコツについて、A～Cの記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。（5点×3）

	解答欄
A. 切り始めにのこぎりが暴れないよう切り込みを入れるとき、のこぎりの先端部分を使用する。	×
B. 切り始めと切り終わりは、のこぎりを細かく動かす、切っている途中は胴身の先端から根元まで使用するように動かす。	○
C. のこぎりを動かす距離、リズムを規則的にする。	○

問10.角材（柱材）の縦びき作業中におけるA～Dの危険なポイントと①～④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。（5点×4）

<p>危険なポイント</p> <p>A. のこぎりを持った状態で木材を裏返して怪我をする</p> <p>B. 刃が材に挟まり無理やり引き抜こうとして怪我をする。</p> <p>C. 作業中に刃先が手指に接触する。</p> <p>D. 両足を角材の上に乗せて作業しているときバランスを崩して転倒する。</p>	<p>回避方法</p> <p>① くさびを入れてからのこぎりを抜く。</p> <p>② 手に道具を持ったまま別の作業をしない。</p> <p>③ 耐切削手袋を着用する。切り始め時以外で手を鋸刃付近へ近づけないようにする。</p> <p>④ 角材の上に乗せる足は、片足だけにする。</p>
---	---


注：視線や手元の作業を見てもらうために帽子、手袋などは未着用で撮影しています。

確認テスト 作業名	No.6 (解答例) ほぞ穴掘り	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (総50点)	/105点
		主 眼 点	のみによるほぞ穴掘り				


問1. 平ほぞ差しのはぞ穴を作製するとき、適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)



A. 墨を能かめる




B. 掘り起こす




C. 材料を据え付ける

解答欄 { C → E → A → D → B → F }

問2. 右手でげんのう、左手でのみを持つ作業者がほぞ穴掘りをするとき、作業姿勢A～Cのうち適切な作業姿勢はどれか、解答欄に記号で答えなさい。(5点)



A. 右手が穴の近くに来る



B. 左手が穴側の近くに来る




C. 材をまたぐ

解答欄 { B }


問3. ほぞ穴の口切りをするとき、繊維方向と繊維直交方向のどちらを先に行う方がよいか、解答欄に繊維方向か繊維直交方向で答えなさい。(5点)

解答欄 { 繊維直交方向 }

問4. 口切りを行うときの当てる方の当て方について、図中の①～④の辺に図AとBのどちらの向きでのみ当てることが正しいか、解答欄にAまたはBの記号で答えなさい。(5点)



A. 穴内側に刃直



B. 穴内側に刃直



解答欄 { A }

問5. ほぞ穴掘り作業時の視線位置として、A～Cの記述のうち適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×3)

A. 口切りをするとき、のみの刃先とほぞ穴の墨線付近を見て、げんのうを打つ	○
B. ほぞ穴を掘り進めるとき、のみのかつらや刃先付近を見て、げんのうを打つ	○
C. 削のみに持ち変えるとき、刃先を見て、のみのみ袋に戻す	○

問6. 口切りや掘り起こすときのげんのうを握る位置について、下図A～BとB～Cのどちらを握るのが適切か、解答欄にA～BまたはB～Cで答えなさい。(5点)



解答欄 { B～C }

問7. ほぞ穴掘りのげんのうの打ち方(右利きの場合)として、A～Dの記述のうち適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×4)

A. のみの柄に対して、げんのうの柄が垂直になるよう打ち込む	○
B. 力強く打ち込むために、げんのうを肩より高い位置に振り上げてから打つ	×
C. のみのかつらとげんのうを持つている側の肘との関係は、常に肘のぼうが上になるようにする	○
D. げんのうを打つ時は、げんのうを持つている側の右手指首を固定し、肘と肩を動かして打ち込む	×

問8. ほぞ穴を加工するときの注意点(安全衛生関係を除く)として、A～Eの記述のうち適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×5)

A. ほぞ穴の口切りは、四角形に描かれた墨線の外側に切り込みを入れる。	×
B. 右図のように、のみの刃裏側に下になるように削り進め、ほぞ穴を掘り進める。	×
C. 長辺方向と短辺方向の墨線は、どちらも残すように掘り進める。	○
D. 通しほぞを作製するとき、片側だけを掘り進めると反対側が割れてしまうため、両側から掘り進めて貫通させる。	○
E. さらし削りをする際、突き立てているときののみの角度は変化しないように保持する。	○

裏につづく

付図 1.25 No. 6-1 ほぞ穴掘り のみによるほぞ穴掘り 確認テスト

問9. ほぞ穴掘り作業中における A-D の危険なポイントと①～④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ縦線で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

- A. ほぞ穴に近い側の火曜をのみで切り削る
- B. 掘り進めている眼中に材が作業台(うま)から落ちて転倒する
- C. 小さい掘り時の“突きのみ作業”や仕上げ作業で手指を切る
- D. 抜けなくなっただのみを片手で無理やり引き抜き、引き抜いた後の反動で突き刺し身体をケガする



回避方法

- ① のみの刃の延長線上に手指を置かない
削切削り袋を着用する
- ② ほぞ穴と太腿の距離を作業性・安全性を考慮した適切にとる。のみは、ほぞ穴深さに応じた角度とする。ほぞ穴が浅い場合には、のみが滑るので緩かせ過ぎない。
- ③ のみを前後左右に揺らしてのみの周りにあそびを作ってから引き抜く
両手で抜く、無理に引き抜くことをしない
- ④ 作業台(うま)は材端から15cm以上内側に設置して、作業台の中央付近に材を置いてから作業する

注：図解や手元の作業を見てもらうために手袋などは本番用で撮影しています。

確認テスト 作業名	No.8 (解答例) のみの研ぎ方 (1)	実施日	年 月 日	学籍番号	氏名	点数 (90点)	/90点
		主眼点					
		裏押し					

問1. のみの刃研ぎ作業のうち裏押しをするとき、A~Fの作業を適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)

A. 鋭面になるまで研ぐ
B. 金剛砂をまき、水を2~3滴たらす
C. なじんできたら、全面を使ってゆつくり研ぐ
D. 金盤を固定する
E. 作業姿勢をとる
F. 金剛砂を金盤に押し込むように研ぐ

解答欄 [D] → [B] → [E] → [F] → [C] → [A]

問2. のみの刃研ぎ作業のひとつである裏押しとは何のために行う作業であるか、A~Dの記述について正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。(5点×4)

	解答欄
A. のみ刃の刃先を平面にするため	○
B. のみ刃裏全体を平面にするため	×
C. のみ刃裏を鏡面にするため	○
D. のみの刃先の幅を広くするため	○

問3. のみの裏押し作業について、のみの刃裏はどのように仕上げるのが適切か、下図A~Dのうち適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×4)

	解答欄
A	×
B	○
C	×
D	○

問4. 金剛砂 (GC 粉) に水を加えるとき、どの程度の水分量が適切であるか、A~Dのうち適切なものをひとつ選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)

A. なし
B. 2~3滴
C. 10~20滴
D. 砥石全面に水が染るくらい

解答欄 [B]

注釈：視線や手元の作業を見てもうらうために帽子、手袋などは未着用で撮影しています。

問5. のみの裏押し作業中、どのタイミングで水を追加するのが適切か、A~Dからひとつ選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)

A. 水は追加しない
B. 一往復ごとに追加する
C. 濡れ気がなくなる直前くらいに追加する
D. 濡れ気が無くなってからに追加する

解答欄 [C]

問6. 下図のように砥石に対してのみを当てるとき、A~Cのあて角度と①~③のみの穂幅の組合わせとして適切なものをそれぞれの線で結びなさい。(5点×3)

のみの砥石へのあて角度

① [21mm~]
② [12~18mm]
③ [3~9mm]

問7. のみを取り扱うときにおけるA~Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組合わせとして適切なものを選び解答欄に記号で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

① 指を切る
② 裏押し作業中、力を入れすぎて押さえている指が滑り、指を切る
③ 刃裏の仕上がり具合を見るときに刃裏を拭き取ろうとして指を切る
④ 刃裏のエンツジ部分が鋭くなって、刃先から15mmくらいを残して、中砥石で軽く面取りしておく

回避方法

① 拭き取る方向は刃に対して垂直方向に動かす
② のみ袋の紐はきつく縛り、簡単にほどけず、緩まないようにしておく
③ 必要以上の力を入れて作業をしない

解答欄 [B]

付図 1.26 No. 8 のみの研ぎ方 (1) 裏押し 確認テスト

確認テスト 作業名	No.9 (解答例) のみの研ぎ方 (2)	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (4点×4)	/100点
		主 眼 点	中研ぎと仕上げ研ぎ				

問1.のみの刃研ぎ作業のうちしごきを研ぐとき、A-Gの作業を適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)



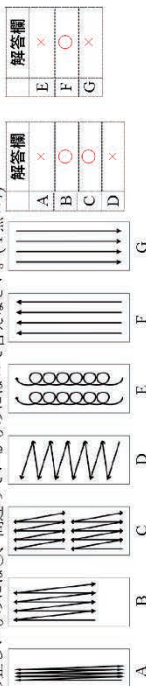
A.準備する B.中砥石を握って水を注ぐ C.仕上げ研ぎをする D.のみの刃を前後させる E.刃がえりを見る F.姿勢をとる G.刃がえりを取る

解答欄 (A → B → F → D → E → G → C)

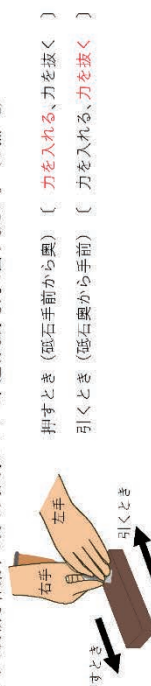
問2.のみの刃研ぎ作業前に砥石の砥き面をどのような状態にした方が良いか、A-Cの記述について正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。(5点×3)

A. 研ぎ面にあるゴミなどは洗い流してきれいしておく	解答欄	
B. 研ぎ面にくぼみがある状態で使用する		○
C. 研ぎ面は乾いた状態で使用する		×

問3.中砥石でのみの刃研ぎ作業をするときの砥石上でのみの動かし方として、下図に示すA-Gのうち正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。(1点×7)

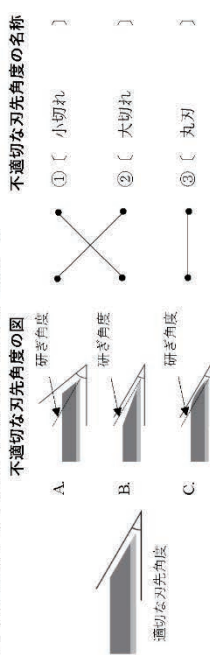


問4.のみの刃研ぎ作業中の力の入れ方について、適切な方を丸で囲みなさい。(5点×2)



押すとき (砥石手前から奥) (力を入れる、力を抜く)
引くとき (砥石奥から手前) (力を入れる、力を抜く)

問5.下図のような適切な刃先角度の刃物に対してA-Cの不適切な刃先角度の図と①～③の名称の組み合わせとして正しいものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×3)



問6.中砥石でのみの刃研ぎ作業をするとき、のみの刃先角度が丸刃にならないようにするため、A-Cの記述について正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。(5点×3)

A. のみ幅に関係なく磨かれるまではのみ幅の約2～3倍くらいの長さで作業する	解答欄	×
B. 作業に慣れるまではのみ幅の約2～3倍くらいの長さで作業する		○
C. 刃研ぎ作業中の両手の角度は変わらないようにしながら作業する		○

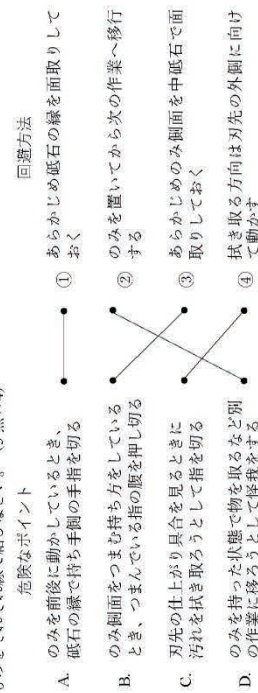
問7.“刃がえり”があることを確認できたタイミングで仕上げ研ぎに移行する。この“刃がえり”はのみの対表と対裏のどちらに確認できるとよいか答えなさい。(5点)

解答欄 (刃裏)

問8.仕上げ研ぎにおけるしごき面と刃裏を研ぐ回数について、1作業10往復とすると、しごき面と刃裏を向往復ずつ研ぐことが適切であるか、1～10の数字で答えなさい。(4点×2)

解答欄 (しごき面 (7) 往復、 刃裏 (3) 往復)

問9.のみの刃研ぎ作業中におけるA-Dの危険なポイントと①～④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)



回避方法
① あらかじめ砥石の縁を面取りしておく
② のみを置いてから次の作業へ移行する
③ あらかじめのみ側面を中砥石で面取りしておく
④ 拭き取る方向は刃先の外側に向けて動かす

付図 1.27 No. 9 のみの研ぎ方 (2) 中研ぎと仕上げ研ぎ 確認テスト

確認テスト 作業名	No.10 (解答例) かなな刃の出し入れ	実施日 主眼点	年月日 かなな刃の出し方と抜き方	学籍番号 氏名	点数(総点数) /80点
--------------	--------------------------	------------	---------------------	------------	-----------------

問1.かなな刃をかなな台から抜き、改めて台にはめる作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



A. 裏座を軽くたく B. 緩んだ裏座を抜く C. 緩んだかなな刃を抜く D. かなな刃を軽くたく E. 台頭をたく F. かなな刃の出を調整する

解答欄 [E] → [B] → [C] → [D] → [A] → [F]

問2.かなな刃の出し入れ作業について適切な方を丸で答えなさい。(5点×3)

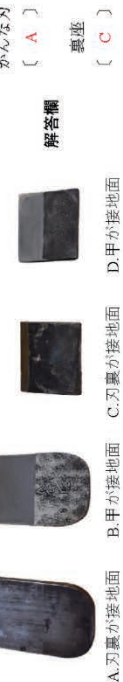
- A. かなな刃と裏座を抜くときは、台頭の [中心をたく・左右を交互にたく]
- B. かなな刃や裏座が飛び出さないように [親指・人差し指] で裏座を押さえる
- C. かなな刃の出を確認するときは [台頭・台尻] から見通す

問3.かなな台の置き方として不適切なものを並び替えなさい。(5点)



A. 台下端が接地面 B. 台上端が接地面 C. 台木端が接地面

問4.かなな刃および裏座の置き方として不適切なものを並び替えなさい。(5点×2)



A. 刃裏が接地面 B. 甲が接地面 C. 刃裏が接地面 D. 甲が接地面

問5.刃先の片側が出過ぎている場合、図のようにかなな刃の側面をたないで刃先の出を平行にするが、どちらの側面をたなければ良いか適切なものを並び替えなさい。(5点)



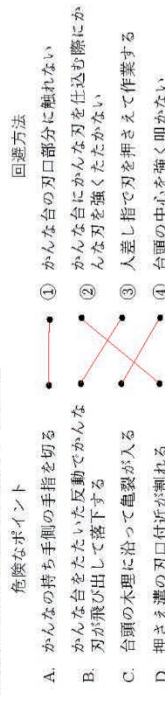
問6.出過ぎなかなな刃を引っ込めない場合、かなな台の台頭をたく角度として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



問7.裏座はかなな刃よりもわずかに引っ込み加減になるように、図のように軽くたたいて合わせるが、かなな刃の種別による裏座とかなな刃の差ほどの程度か①～⑤のうち適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点×3)



問8.かなな刃の出し入れにおけるA～Dの危険なポイントと①～④の回避方法の組み合わせとして適切なものを並び替えなさい。(5点×4)



A. かなな刃の持ち手側の手指を切る B. かなな台をたたいた反動でかなな刃が飛び出して落下する C. 台頭の木理に沿って亀裂が入る D. 押さえ溝の刃口付近が削れる

解答欄 [B]

付図 1.28 No. 10 かなな刃の出し入れ かなな刃の出し方と抜き方 確認テスト

確認テスト	No.11 (解答例)	実施日	年 月 日	学籍番号	氏名	点数(総15点)	/100点
	かな削り(1)	主眼点	薄板の仕上げ削り				

問1.板削りをする作業を、適切な順序に並べ替えます。(5点)



A. 削る方向を決める



B. 荒削り(むら削り)をする



C. 仕上げ削りをする



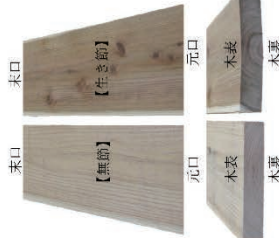
D. 板全体を少しこ削りする

E. 板を削り台に据え付ける

解答欄 (A) → E → B → D → C)

問2.節の有無による板の削る方向として適切なものを丸で囲んで答えます。(5点×4)

- A. 無節の材面の木表は (元口) から削る
- B. 無節の材面の木裏は (元口) から削る
- C. 生き節のある材面の木表は (元口) から削る
- D. 生き節のある材面の木裏は (元口) から削る



問3.かんなの種類の異なる板削りの手順として適切なものを選び解答欄に記号で答えます。(5点×3)

- A. 荒削り (B)
- 削る向き (A)
- B. 仕上げ削り (A)
- 削る向き (A)



問4.削り台の記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えます。(5点×4)

A. 削り台は、幅の狭い薄い杉を平に削ったものを用いる	解答欄	×
B. 削り台は、ほぼ露点にして、がなつかないようにしっぺと据え付ける		○
C. 削り台は、削り台の台尻を高くして据え付ける		×
D. 削り台は、なるべく反り台にする		×

問5.薄板のかんな削りに関する記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えます。(5点×4)

A. 凹凸のある板の荒削りは、木表だけむら取り削りをする	解答欄	×
B. 裏面を緩めて逆日睡れを残しながら、中しこ削りをする		×
C. 仕上げ削りは、かんなを板面に押し付けながら真つづくに一定の速度で引く張る		○
D. かんなの歯の削り継ぎができないように、仕上げかんなで何度も削り、光沢が出るまで削る		×

問6.薄板のかんな削り作業中におけるA-Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

回避方法

A. 滑り止め(羽根虫など)でかな台を傷める

B. 硬い生き節でかな刃を傷める

C. 板材が削り台から落下し、足を自傷する

D. かんなを握った指先が材に接触し、指を痛める

① 生き節に逆らわないように、削る方向を選ぶ

② 台尻(削り台)の適切な位置に、被削材の削る面よりも下側になるように滑り止めを取り付ける

③ 被削材を幅広い平滑な削り台に、がたつかないように据え付ける

④ かんなを握った指先を台下端から出さない

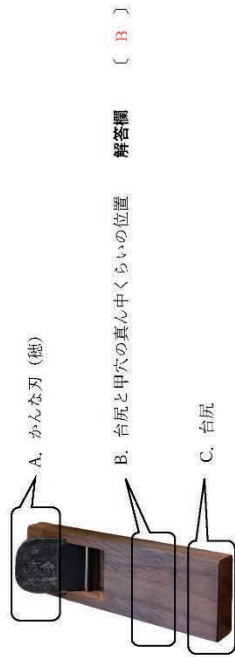
付図 1.29 No. 11 かな削り (1) 薄板の仕上げ削り 確認テスト

確認テスト	No.12 (脚注例)	実施日	年 月 日	学籍番号	点数(全問5点)
	かなな削り(2)	主眼点	かななの持ち方と削り動作	氏 名	/100点

問1. 削り始めの動作として適切な方を丸で囲んで答えなさい(右利きの場合)。(5点×4)

- A. かななは刃口が被削材より〔 **前方** ・ 後方 〕に位置するように置く
- B. かななを被削材に対して〔 **水平に** ・ 傾けて 〕密着させる
- C. 〔 **左足** ・ 右足 〕に重心を掛け、前傾姿勢で削り始める
- D. かななを後方へ引くと同時に〔 左足 ・ **右足** 〕へ重心がかかるように体重移動する

問2. 削り動作において右手でかななを持つ位置(右利きの場合)について、下記のA～Cのうち適切な位置を選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



問3. 削り動作に関する記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×5)

	解答欄
A. 勢いをつけて上半身の反動で削る	×
B. なるべく腕だけで削る	×
C. 腰で調子をとるような気持ちで削る	○
D. かななを真っすぐに一定の速度で引っ張る	○
E. 前傾姿勢で方を均一に加えて削る	○

問4. 削り動作に関する足の運びについて適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×3)

	足の運び	解答欄
	A. 荒削りは後ろ向きで歩きながら、一気に引き通すように削る	×
	B. 仕上げ削りはかななまわらんに注意して、気に引き通すように削る	○
	C. 足の運びは、荒削り、仕上げ削りによって異なる	○

問5. 削り終わりの動作として適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×3)

	削り終わり	解答欄
	A. かななを体の後方に、勢いよく引き抜く	×
	B. かななを体の前方で、材面より上に引き上げる	×
	C. かななを体の前方で、材面に水平に引き通す	○

問6. 削り動作中におけるA～Dの危険なポイントと①～④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)

<p>危険なポイント</p> <p>A. かななくずで足を滑らせる</p> <p>B. かなな刃で指を切る</p> <p>C. かななを足に落とす</p> <p>D. 被削材の角で指を切る</p>	<p>回避方法</p> <p>① かななの刃口に触れない</p> <p>② 被削材の角に指が触れないように腕を握る</p> <p>③ こまめに掃除をする</p> <p>④ 安全靴を着用し、適度に休息をとる</p>
--	--

付図 1.30 No. 12 かなな削り (2) かななの持ち方と削り動作 確認テスト

確認テスト 作業名	No.14 (解答例) かんな刃の研ぎ方 (1)	実施日 主眼点	年 月 日 かんな刃の裏打ちの仕方	学籍番号 氏 名	点数 (90/90) /90点
--------------	-----------------------------	------------	----------------------	-------------	--------------------

問1. かんな刃の裏打ちの作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



- A. 中砥石で刃先をつぶす
B. 裏打ちの場所を確認
C. 指をガイドに位置決め
- D. しのぎ面をたたく
E. 金床を固定する
F. 刃裏の出を調べる

解答欄 [A] → [E] → [C] → [B] → [D] → [F]

問2. 刃先が欠けた場合、刃の背中(甲)を手前にして持ち、中砥石で刃先を平らにつぶすが、その際、進行方向に対するかんな刃の状態として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



- A. 刃を少し前 (進行方向と逆) に倒す
B. 刃を垂直にする
C. 背中(甲)を少し手前 (進行方向) に倒す

解答欄 [C]

問3. かんな刃の裏打ち作業について適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×5)

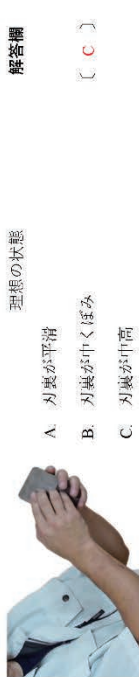
- A. かんな刃と金床を密着させ [親指・人差し指] をガイドにして位置を決める
B. たたく位置を変えるときは [かんな刃・げんのう] の位置のままにして [かんな刃・げんのう] を左右に動かす
C. 裏打ちとはかんな刃の [鋼・地金] 部分をたたくとき、[鋼・地金] 部分を裏出した作業である

問4. かんな刃を裏打ちするとき、しのぎ面などの部分にげんのうを当てるのが良いか、適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



- 刃先からの距離
A. 刃先からしのぎ面の 1/3
B. 刃先からしのぎ面の 1/2
C. 刃先からしのぎ面の 2/3

解答欄 [C]



問5. 裏打ち後にかんな刃を筒に挿して刃先の状態を確認するとき、刃裏の理想の状態として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)

- 理想の状態
A. 刃裏が平滑
B. 刃裏が中くぼみ
C. 刃裏が中高
- 金属音
A. 金属同士がぶつかり合う甲高い軽快な音
B. 金属が打ち付けられたような鈍重な音

問6. 裏打ち作業中の理想の金属音として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)

A. 手元が安定するように、げんのうを持つ利き手のひじは脇につける	解答欄	<input type="radio"/>
B. 刃先全体が裏の方に反り曲がるように、裏切れ部分だけを重点的にたたく		<input checked="" type="radio"/>
C. げんのうの打撃点と金床の接点が密着するように、金床は丸い方を手前にして置く		<input type="radio"/>
D. 鋼に打撃が伝わるように、なるべく強い力で必要最小限の打撃回数とする		<input checked="" type="radio"/>

問7. かんな刃を裏打ちするときの注意点 (安全衛生関係を除く) として、A~D の記述について適切でないものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×4)

A. 強い衝撃で鋼部分にたたく 刃裏が生じる	危険なポイント 回避方法	<input checked="" type="radio"/>
B. 作業中にかんな刃と金床の隙間に指を挟む	① かんな刃を金床に密着させる ② しのぎ面を前に押し出す感覚で小刻みにたたく	<input checked="" type="radio"/>
C. たたく反動で金床が動き、げんのうで指をたたく	③ かんな刃を人肌にあてて暖めてから裏打ちする	<input checked="" type="radio"/>
D. 冬場の裏打ちで鋼が割れる	④ 金床が動かないように固定する	<input checked="" type="radio"/>

付図 1.31 No. 14 かんな刃の研ぎ方 (1) かんな刃の裏打ちの仕方 確認テスト

確認テスト 作業名	No.15 (解答例) かなな刃の研ぎ方(2)	実施日	年月日	学籍番号	氏名	点数(100点)	/100点
		主眼点	かなな刃の裏押し				

問1. かなな刃の裏押しの作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



D. 金剛砂をまく

E. 金盤を固定する

F. 水研ぎで仕上げる

解答欄 { E → D → C → A → B → F }

問2. 裏切れのかなな刃を裏押しするとき、金盤に載せる金剛砂および水の量として適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×3)



金剛砂をひとつまみほど集めて載せる(最初は(大豆)・小豆)くらい、補充は(大豆)・小豆(くらい)

金盤上に水を(1~2滴)・3~4滴)たらす

問3. かなな刃の裏押し作業について適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×4)



押し始めは、金剛砂の粒子を細かくするため、かなな刃の往復を(長く)・短く)し、粒子が刃裏全体になじんだら、徐々に往復を(長く)・短く)する

裏押し作業では、刃裏を(押す)・引く)ときに力を入れ、(押す)・引く)とき少し力を抜きかげんにして研ぐ

問4. 裏押し作業における押し棒の使用法について適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×2)



押し棒を表刃の(中央)・先端)に当てる

利き手が右手の場合、(左手)・右手)で押し棒と穂頭部を握り、もう一方の手で押し棒の他端を握る

問5. 裏押しする際の力の比率として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



解答欄

問6. かなな刃の刃裏の理想の状態として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



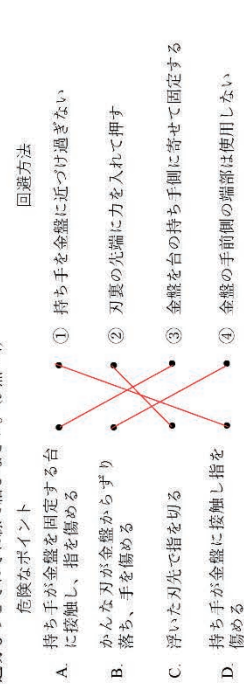
解答欄

(D)

問7. かなな刃を裏押しするときの注意点(安全衛生関係を除く)として、A~Dの記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×4)

解答欄	
A. すでにある刃裏は仕込みの堅さに影響するので、研ぎは最小限にする	○
B. 裏押しの仕上げは、かなな金盤の金剛砂を除去せずに一気に研ぎ上げる	×
C. 刃裏の傷やさび跡はすべて刃にぼれになるので、裏押しの仕上げは鏡のようになるまで研ぐ	○
D. 刃裏が平滑になると、光線を当てたときに乱反射する	×

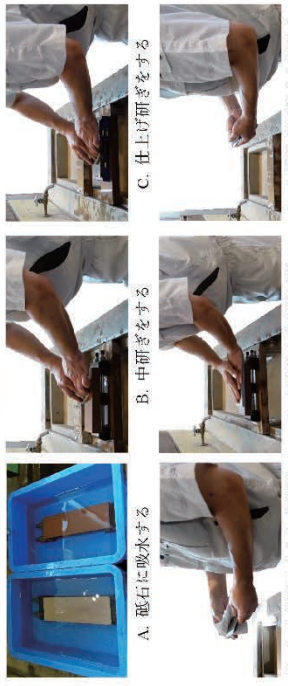
問8. かなな刃の裏押し作業中におけるA-Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)



付図 1.32 No.15 かなな刃の研ぎ方(2) かなな刃の裏押し 確認テスト

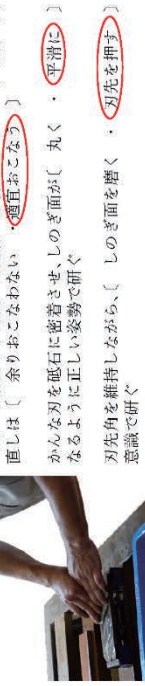
確認テスト 作業名	No.16 (解答例) かなな刃の研ぎ方 (3)	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (60点満)	/100点
--------------	-----------------------------	-------	-------	---------	-----	-----------	-------

問1. かなな刃の研ぎ方の作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



D. かなな刃の水をふき取る E. 中砥石の砥面を直す
解答欄 [A → E → B → F → C → D]

問2. かなな刃の研ぎ方について適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×3)

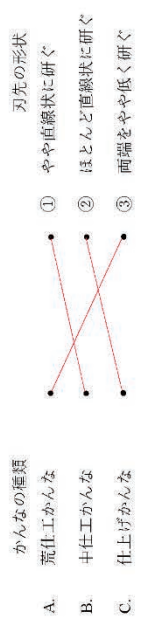


砥石の平滑度や平行度が刃先線に影響を及ぼすため、砥石の面直しは〔 余りおこなわない、適宜おこなう 〕
かなな刃を砥石に密着させ、しごきながら〔 丸く・平滑に 〕なるように正しい姿勢で研ぐ
刃先角を維持しながら、〔 しごき面を磨く・刃先を押し 〕意識で研ぐ

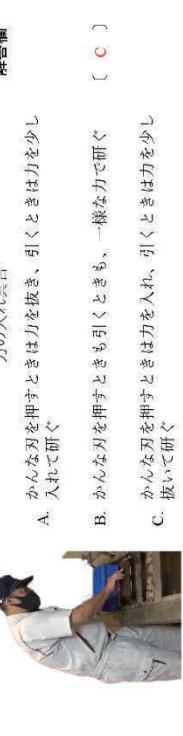
問3. 各工程におけるかなな刃の研ぎ方として、A~Dの記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×7)

	解答欄
A. 荒研ぎは、研ぎ汁をためながら刃がえりがでるまで研ぐ	×
B. 片研ぎになつて刃は、刃先を荒研ぎしてから修正する	×
C. 中研ぎは、研ぎ汁をためながらゆっくりに研ぐ	×
D. 中研ぎで刃がえりが一様に出たら、仕上げ研ぎに移る	○
E. 仕上げ研ぎは砥石が刃先がえりになるまで研ぎあげる	×
F. 仕上げ研ぎは、しごき面の鋼が均一に鏡のようになるまで研ぐ	○
G. 仕上げ研ぎは、しごき面を7~8回、刃裏を2~3回くらい割合で研ぎ合わせ	○

問4. かなな刃の研ぎ方についてA~Cのかなな刃の種類と①~③の刃先の形状として適切なものをそれぞれで丸線で結びなさい。(5点×3)



問5. かなな刃を研ぐ際の力の入れ具合として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



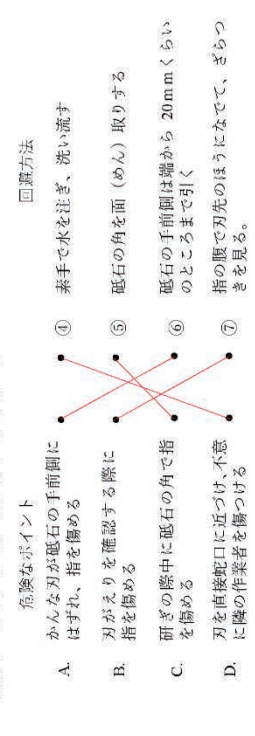
刃の入れ具合
かなな刃を押すときは力を抜き、引くときは力を少し入れて研ぐ
かなな刃を押すときも引くときも、一様な力で研ぐ
かなな刃を押すときは力を入れ、引くときは力を少し抜いて研ぐ
解答欄 [C]

問6. 刃の研ぎ角度として適切なものを選び解答欄に記号で答えなさい。(5点)



研ぎ角度
A. 15° ~ 20°
B. 20° ~ 25°
C. 25° ~ 30°
解答欄 [C]

問7. かなな刃の研ぎ作業におけるA~Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれで丸線で結びなさい。(5点×4)



危険なポイント
かなな刃が砥石の手前側にはずれ、指を傷める
刃がえりを確認する際に指を傷める
研ぎの際中に砥石の角で指を傷める
刃を直接蛇口に近づけ、不注意の際の作業音を聞つける
回避方法
① 素手で水を注ぎ、洗い流す
② 砥石の角を面(めん)取りする
③ 砥石の手前側は端から20mmくらいのところまで引く
④ 指の腹で刃先のほうになで、ざらつきを見る。
解答欄

付図 1.33 No. 16 かなな刃の研ぎ方 (3) かなな刃の研ぎ方 確認テスト

確認テスト 作業名	No.17 (解答例) かんな刃の研ぎ方 (4)	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (60/100)	/100 点
裏座の研ぎ方と合わせ方の作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)		裏座の研ぎ方と合わせ方					

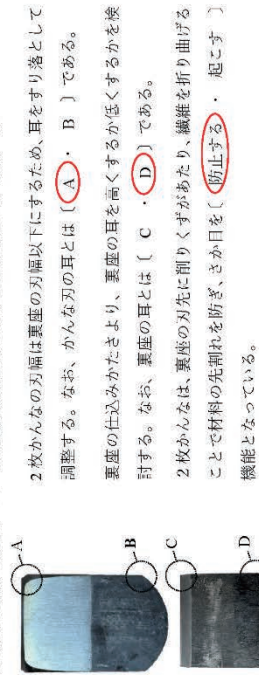
問1. 裏座の研ぎ方と合わせ方の作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



A. 裏押しをする B. 裏座を中研ぎする C. 耳を立てる
D. 2段階研ぎする E. 裏座のガタつきを調べる F. ねじれが直るまで繰り返し

解答欄 (A → B → D → E → C → F)

問2. かんな刃と裏座の記述について、適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×3)



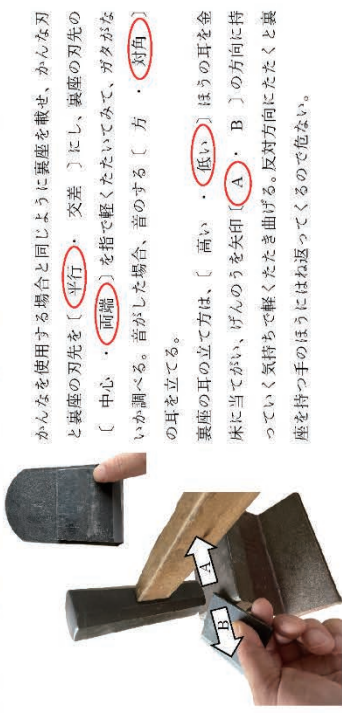
2枚かんなの刃幅は裏座の刃幅以下にするため、耳をすり落として調整する。なお、かんな刃の耳とは (A) (B) である。
裏座の仕込みかたさより、裏座の耳を高くするが低くするかを検討する。なお、裏座の耳とは (C) (D) である。
2枚かんなは、裏座の刃先に閉りくずがあたり、繊維を折り曲げることで材料の先押れを防ぎ、さか目を (防止する) (起こす) 機能となっている。

問3. 裏座の2段階研ぎについて適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×2)



裏座の研ぎ方は、かんな刃の研ぎ方に準じて研ぐ。仕上げ砥石で合わせるとき、裏座を [30°~45°・60°~75°] くらいに立て、引くときに力を [抜いて] (入れて) 2段と研ぎにして合わせる。

問4. かんな刃と裏座の合わせ方について適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×5)



かんな刃を使用する場合と同じように裏座を載せ、かんな刃と裏座の刃先を [平行] (交差) にし、裏座の刃先の [中心] (両端) を指で軽くたたいてみて、ガタがないか調べる。音がした場合は、音のする [方] (対角) の耳を立てる。
裏座の耳の立て方は、 [高い] (低い) ほうの耳を金床に当てがい、げんのうを矢印 [A] (B) の方向に持っていく気持ちで軽くたたき曲げる。反対方向にたたくと裏座を持つ手のほうにはね返ってくるので危ない。

問5. 裏座に関する記述について適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×5)

	解答欄
A. 裏座の耳の高さは、かんなの仕込みかたさに影響する	○
B. 裏座の耳が高いとかんな削りのとき重く感じる	○
C. 2枚かんなは、かんなの刃裏と裏座との間にすき間があると、さか目がとまり良好な削り面が得られる。	×
D. 2枚かんなは、かんなの刃裏と裏座との間にすき間があると、かんな削りがくずれく。	×
E. 裏座によってかんな刃の切削角を大きくし、さか目が立つのを防止する	○

問6. 裏座の研ぎ方と合わせ方の作業中におけるA-Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

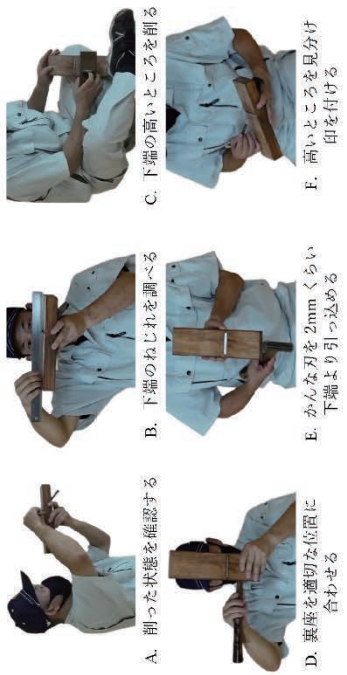
回避方法

A. 裏座の耳を立てる作業中に裏座がはね返り指を傷める	① 裏座を持つ手が金盤に触れないように刃裏を押し
B. かんなの刃先に裏座を合わせる作業中に指を切る	② 砥石の角を面(めん)取りする
C. 裏押し中に金盤の角で指を傷める	③ 裏座の耳を押し出すように、軽くたたき曲げる
D. 研ぎの際中に砥石の角で指を傷める	④ かんなの刃先に触れないように裏座を合わせる

付図 1.34 No. 17 かんな刃の研ぎ方 (4) 裏座の研ぎ方と合わせ方 確認テスト

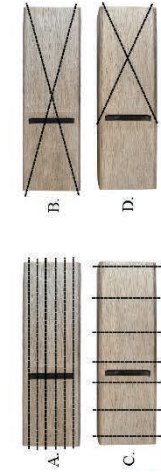
確認テスト 作業名	No.18 (解答例) かなな台の手入れ (1)	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (60分以内)	/100点
--------------	-----------------------------	-------	-------	---------	-----	------------	-------

問1. かなな台下端削りの作業を、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)



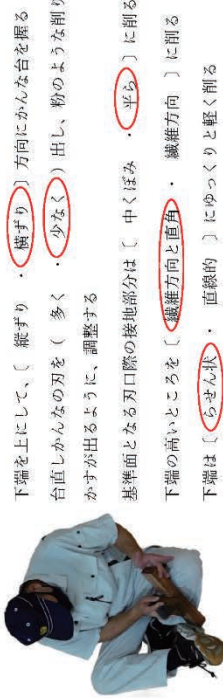
解答欄 (E → D → B → F → C → A)

問2. かなな台の下端を調べる作業について、適切な順序に並べ替えなさい。(5点)

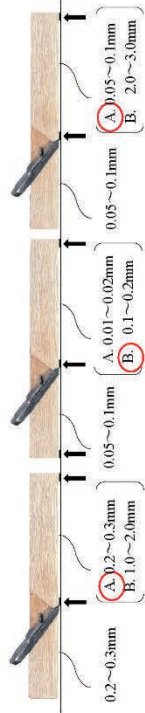


解答欄 (B → D → A → C)

問3. かなな台下端削りについて適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×5)



問4. 用途によるかなな台の下端の形状 (矢印は接地面を表す) として、適切な方を丸で囲んで答えなさい。(5点×3)



荒しこかなな 仕上げかなな
中しこかなな 仕上げかなな

問5. かなな台の下端削り (台直し) に関する記述については○、不適切なものには×で答えなさい。(5点×6)

	解答欄
A. 台直しとは、削り作業に先立ち、かなな台下端を修正することである	○
B. 刃を仕込むとかなな台に圧力がかり、台頭面が膨らむので、台直しは刃を仕込まずに行うことが望ましい	×
C. 台下端は、基本的に刃口と台尻を基準面にして、削る程度 (荒削り、仕上げ削りなど) によって仕立てを変える	○
D. 台頭をわずかに低くすると、材面にかなな刃の食いつきがよくなる	○
E. 木製のかなな台は材面との摩擦ですり減ることはない	×
F. かなな台の狂いを取り除けば、その後、湿気、乾燥による台の変形は起こらない	×

問6. かなな台の下端削り作業におけるA-Dの危険なポイントと①~④の回避方法の組み合わせとして適切なものをそれぞれ線で結びなさい。(5点×4)

危険なポイント

回避方法


① 顔の近くで息を吹きかけない
② 台直しかなな台の作業領域を持たない
③ かなな台を足や手でしっかりと支えて作業する
④ かなな刃と裏座を使用状態に近づける

A. かなな台から刃が抜け落ちて、足を切創する
B. 粉のような削りかすが目に入り、眼球を傷つける
C. 台直しの刃がかなな台を持つ手の指先に触れ、指を傷める
D. 作業中にかななを落とすとして、足を負傷する


付図 1.35 No. 18 かなな台の手入れ (1) かなな台下端削り 確認テスト

確認テスト 作業名	No.24 (解答例) けびきの使い方	実 施 日	年 月 日	学 籍 番 号	氏 名	点数 (800点) /70点
--------------	------------------------	-------	-------	---------	-----	-------------------


問1. けびきを使用するとき、A~Fの作業を適切な作業順序に並べ替えなさい。(5点)



A. 準備する



B. 本びきする



C. 試しびきする

D. くさび(ねじ)を締める E. 所要の寸法に合わせる (30mm) F. くさび(ねじ)を確認する


解答欄 [A → F → E → D → C → B]

問2. 「けびき」を使う目的として正しいものを1つ選び記号で答えなさい。(5点)


ア. 表面を平らに削るため
イ. 材料の端を正確に揃えるための線を引くため
ウ. 部材同士を接着するため

解答欄 [イ]


問3. けびきのスケールの合わせ方として、A~Cのうち正しいものを選び記号で答えなさい。(5点)



A. スコヤを定規面に当ててけびきの刃の先端までを測る




B. スコヤを定規面に当ててけびきの刃の中央付近までを測る




C. スコヤを定規面に当ててけびきの刃の先までを測る

解答欄 [B]

問4. さおけびき(ねじ式)を所要寸法(50mm)に微調整する方法について、①と②のそれぞれ記法においては図AとBのどちら側で調整するが正しいか記号で答えなさい。(5点×2)




図A さお頭側




図B さお尻側

解答欄 [図A]


問5. 試しびきと本びきをすすめる際のけびきの持ち方として、A~Cのうち正しいものを選び記号で答えなさい。(5点)



A. けびきの刃を押えながら持つ



B. 片手で棒を握るよう持つ



C. 片手で棒を指で挟むよう持つ

解答欄 [C]

問6. 試しびきと本びきをすすめる際のけびきの使い方として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。(5点)

ア. けびき刃先を木材に強く押し付けて、手前側に引くようにする
イ. けびき刃先を木材に軽く当てて、奥側に押し進めるようにする
ウ. けびき刃先を木材に軽く当てて、手前側に引くようにする

解答欄 [ウ]

問7. 本びきの際、正確でまっすぐなけびき線を引きするためのコツとして、A~Dの記述について正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。(5点×4)

A けびきの定規面を基準面に軽く当て、けびきを滑らせるようにする	解答欄
B けびきの定規面を基準面にしっかりと当て、けびき刃先を軽く当てるようにする	×
C はず幅とはず六幅のけびきをすするときは、けびき幅を変更せず、基準面を変えてけびきをする	○
D けびき線が引けなくなるときは、けびき幅を変更せず、基準面を変えてけびきをする	×

問8. けびきを用いた作業中におけるA~Dの危険ポイントと①~④の回避方法の組合せとして適切なものを選び記号で答えなさい。(5点×4)

危険なポイント

回避方法

A. けびきを持ち運ぶ際に刃先に触れて手指を切る	① さお尻側を持って運ぶようにする
B. けびき線を引きるとき、不必要な力を込めてバランスを崩してケガをする	② 調整時にけびきのさおを強く叩かない、ねじを緩めて再調整する
C. 材料を押えていた手指をけびきで切る	③ 途中で押さえ手の位置を変える
D. 狭い作業場で寸法を調整する際、けびきを強く打ち付けた結果、叩く位置がずれて手や指を踏って打つ	④ けびき線を引き特くにけびきを入れ過ぎない

付図 1.36 No. 24 けびきの使い方 けびきによる平行線の引き方 確認テスト